

呼びかけて活動を展開していくこと、「承知の通り」といふことです。しかし、この不幸な災害の残した傷跡は当分の間消え去ることはないかも知れません。でも、私達は少しでも明るい未来に希望を託し、光を求めて続けるべきではありません。

未だ暑さが厳しい8月の後半、本校の高校生45名と教師12名が、日本聖公会の立ち上げた「いつしょに歩くプロジェクト」の一員として東北の地で多くの学びと小さな働きを体験することが出来ました。これも現地で働いておられる司祭さんやスタッフの皆さんのが援助があってこそ出来た活動です。特に今回は、日本福音ルーテル教会救援対策本部の立野伊藤両牧師先生には大変お世話になりました。

# キリスト教学校と 教會の連携



橫 內 允

学校・高等学校の井井英吉  
校長先生をお招きし、震災  
を中心にして全校生にお話  
をしていただきことになつ  
ています。  
さて、私の属している聖  
公会も他の教派と同じく信  
徒の高齢化が進み、教勢は  
衰退の道を歩んでいます。

決出来る問題ではないよう  
です。

今まで宗教は日本の世俗社会の中にあって、超専門的教派の苦惱を味わってきていましたが、この状況から脱皮するには難しいかも知れません。しかし、明治以来の歴史を辿つてみると

力を継続し、その働きが  
会に認知されてきていく  
と言えるでしよう。

ア活動や海外外行事も国内での聖公会の支援と協力にて存していますし、反対にこの区の働きや行事にも出来ただけ参加し協力するように力を続けています。  
〈香蘭女子学校中等科・高校校長、日本聖公会関係校協議会会長〉

史編・資料編の冊子を来年3月中旬に刊行する。大西博士は「明治学院大学学長と『百年史』編纂委員会員長」である。

は定樹委任。1月19日付にて久慈惣一氏が理事長を退居、後任に太田稔氏が19日付で就任。農學園よりの森三愛喜等字子が創立20周年を迎える。3月30日(金)に記念式典祝賀会が開催された。聖望學園

東日本大震災復興支援金  
10月20日の時点での教育  
同盟事務局にお送りいた  
金額は13校(15  
件)から45万円まで  
0円です。事務局では6  
月の宮城県3校に続き9  
月12日付で、聖光学  
院、茨城キリスト教学

〈11月号目次〉  
第55回大学部会研究集会 〈2面〉  
関西地区大学部会研究集会 〈〃〉  
第4回事務職員部会研修会 〈3面〉  
全国広報委員会 〈4面〉  
ハイ! こちら Q.Q 箱 〈〃〉  
公募、報告と予定 〈〃〉

通史編・資料編3月刊行へ

## 『百年史』最終編纂委員会開催される

第一回講義 第二回講義 第三回講義  
第4回講義 第5回講義 第6回講義  
第7回講義 第8回講義 第9回講義  
第10回講義 第11回講義 第12回講義  
第13回講義 第14回講義 第15回講義  
第16回講義 第17回講義 第18回講義  
第19回講義 第20回講義 第21回講義  
第22回講義 第23回講義 第24回講義  
第25回講義 第26回講義 第27回講義  
第28回講義 第29回講義 第30回講義  
第31回講義 第32回講義 第33回講義  
第34回講義 第35回講義 第36回講義  
第37回講義 第38回講義 第39回講義  
第40回講義 第41回講義 第42回講義  
第43回講義 第44回講義 第45回講義  
第46回講義 第47回講義 第48回講義  
第49回講義 第50回講義 第51回講義  
第52回講義 第53回講義 第54回講義  
第55回講義 第56回講義 第57回講義  
第58回講義 第59回講義 第60回講義  
第61回講義 第62回講義 第63回講義  
第64回講義 第65回講義 第66回講義  
第67回講義 第68回講義 第69回講義  
第70回講義 第71回講義 第72回講義  
第73回講義 第74回講義 第75回講義  
第76回講義 第77回講義 第78回講義  
第79回講義 第80回講義 第81回講義  
第82回講義 第83回講義 第84回講義  
第85回講義 第86回講義 第87回講義  
第88回講義 第89回講義 第90回講義  
第91回講義 第92回講義 第93回講義  
第94回講義 第95回講義 第96回講義  
第97回講義 第98回講義 第99回講義  
第99回講義 第100回講義 第101回講義

数えて  
リストト  
教員会(2)  
年史(編  
校教育  
いなか  
学校教  
眞性を  
初出(編  
とじ  
て開催  
にした  
資料編  
たの  
委員會  
キリス  
足當初  
である  
てある  
三書が  
り使わ  
史)では  
ダント  
べ  
「一般  
リストト  
が、即

敘述においては、**「連合・連立等による連合**」と記載された。これは、教育同盟の立場から見ると、時代を経て、成功と挫折を経たものである。この記述には、「**連合・連立等による連合**」と記載された。

運命ギリスとして「表記の統一」を規定した。この規定は、表記の統一性のあるものとそうでないものとの区別である。つまり、統一性のあるものとそうでないものとの区別が、この規定によって明確にされたのである。

ト教数学一  
許する(い)  
りよりも  
國の、(一貫)  
に致めたつ  
所原記に以  
人名略記に  
先生方を  
に助けられ  
ません。  
養育会は11  
月の湘南園  
れてから毎  
べそして繁  
る連体をも  
るを重ねてき  
人 恵  
の作業委  
員會とは別  
「再

（北陸学院）、（研究員）。等  
編期（一九五九）大森七九

に努め  
勤務した  
「最終  
の研究員。第五  
の第一  
部「希望への模  
索」大西晴樹  
（明治学院、小  
山ルイ  
宮愛（関東学  
院）、本田栄一  
（第一部）  
及び第一  
（桜美林学園）。  
九四六  
これに顧問の鶴  
松かほ  
川醫（立教女子  
、辻直  
院）、出村彰  
（宮城学院、黒  
第四部  
川信也（東洋英和  
大一  
院、氣賀健生（青  
院）、山内一郎（青

「いつも喜んでいい。絶えず祈りなさい。  
どんなことにも感謝し  
さい。」  
(テサロニケの信徒へ  
手紙一五章16-18節)

聖書のことば



関根伊作

うつた人が友達としていると思っていながら、自分を振り返ると自分の表情や行動が、今までのところなものである気がつかなされことがあります。その時自分の足りないとこを知り、喜び感謝する必要を教えられました。そのことに気がつき、動することによってよくなり、周りの人々に安心を与え受け入れてもらおうと頑張ります。



英語を教えると、再び生じる問題は、次の自殺の直前のサインをあげてあります。

- ・感情が不安定で突然泣き出しあなたを見ない
- ・深刻な絶望感を見る
- ・学校や職場に行かなくなる
- ・友人の立際が減り、引きもがむくなる
- ・極端に食欲が落ち、不眠に悩まされる
- ・アルコールや薬物の濫用が見られる

青年の危機をどう捉えるか。人生の重大な問題には出会い、その対処方法がない時、人は危機に立たされます。crisisはhuman point(転換点)といわれ、よくも悪くも変化が求められます。そこに孤独の苦悩があります。ソーシャルヘルプスの觀点からみると、必ずしも心病なのです。いるのではなく、社会生活に適応できない状況であります。そこに孤独の苦悩があります。人とのつながり、人間関係、心の繋がりなど、様々な精神状況を作ります。アル中、麻薬依存、心身症、うつ病、そして自殺など、孤独は文脈通り、人の心を殺します。といえますが、孤独に耐え切れず死を選ぶ人が多いからです。

今回の震災でも、4月の相談では、メンタル問題が23%も占め、一番多いのがうつ病で、精神的理解が必要です。皆様が問題の中では72・3%を占めています。そのうち1つは心の風邪のよくなものといわれ、うつ病の理解が必要です。皆様が見る青年に、この状況が

ようか、震災一発で多くの生徒が亡くなってしまった。しかし、皆様が一生懸命に復興活動をして、震災の問題を解決する力は、とても大きいものだ。学生や生徒たちも、この経験を活かして、社会貢献活動に取り組んでいます。

他の窓口対応の基本にしては、本人の困りごとをじっくりとお聞きしていくことになります。教育職員が工夫して「うまいこと」で問題を解決していくのが、この窓口対応の特徴です。

キリスト教学校教育同  
主催第4回事務職員部  
研修会・キリスト教活用  
担当者事務職員研修会  
)が、9月30日に東  
学院大学土橋キャン  
を会場に開催された。  
国の中大生の心の危機を支え合う  
祈りと協働—学生・生徒の心の危機を支え合う  
路を見据えた機能的な  
小を身に着けてもむづつち  
が、社会を目前で見  
た大学での役割なので  
はないだろうか。  
そのためにも学生のみ  
らす家族の協力を得な  
くして学生を支援して  
個別的で多様な一コース  
的確に捉えた支援を  
時に外部機関とともに  
労して学生を支援して  
い。さらには卒業後の  
院宗教部・大学宗教部  
西南学院宗教局・大学宗教部  
教 研 事 務 職 員 部 会 委 員 俊 田 裕 俊

北学院大学宗教主任の開会式礼拝から始まった。統一して星宮寺院立花慎一事務職員部長の挨拶の後、ラザー記念礼拝堂で行われた大学礼拝に参った。キリスト教説は、非常に新鮮であった。礼拝は佐々木本邦宗教主任よりローマーの信徒の手紙五章一節より説教が行われることの大切さが、とても印象に残る御言葉であつた。主題講演は、出村和子・弘前学院大学客員教授・仙台のうちの電話

